

武蔵野市民文化会館改修案（平成 26 年 8 月）

～建設から 30 年、今後 30 年活用するために～

武蔵野市

はじめに	1
第1章 武蔵野市民文化会館の現状と課題	
1 概要	2
2 位置付けと役割	4
3 現状と課題	4
第2章 改修に関する基本的な考え方	
1 文化施設再整備の考え方	9
2 目的	9
3 基本的な視点	9
第3章 改修案の検討と立案	
1 改修案の立案と概算工事費用	12
2 主な改修内容	15
第4章 今後の進め方	
1 今後のスケジュール	20
2 全館休館予定期間	20
資料編	
資料1 市民説明会及びパブリックコメントの概要	21
資料2 改修案に対するご意見と市の対応・考え方	22



はじめに

武蔵野市民文化会館は、昭和59年に開館し、これまで30年にわたり、優れた文化芸術の鑑賞、文化芸術活動の育成・支援事業を実施する市民文化創造の拠点施設として本市の文化芸術活動の推進に大きく寄与してきました。

一方で、武蔵野市民文化会館の建物及び各種設備は、開館から30年が経過して、経年による老朽化が進んでおり、特に舞台特殊設備（舞台機構・舞台照明・舞台音響）については、突発的な故障などのリスクが高まる中、事業を継続している状況です。引き続き本市の市民文化創造の拠点として、継続的かつ安定的にサービスを提供するために、改修が必要な時期を迎えています。

今後も末永く市民に親しまれ、利用される施設であり続けるよう、利用者のニーズを踏まえ、あらゆる人が利用しやすく市民が主体的に文化活動・鑑賞などができる施設環境の維持、改善に努めることが必要です。

平成24年度からの10年間を計画期間とする武蔵野市第五期長期計画では、総合的・計画的な観点から文化施設の整備を推進していくことを掲げました。また、武蔵野市行財政改革アクションプランや武蔵野市公共施設再編に関する基本的な考え方でも、武蔵野市民文化会館は必要な改修を加えながら継続して利用していくという方向性を示してきました。

こうしたことから、本施設の劣化した施設などの改修とともに、社会の変化をとらえ機能を向上させることを伴う改修を検討し、武蔵野市における市民文化創造の拠点としてふさわしい施設となるための改修案を策定しました。

第1章 武蔵野市民文化会館の現状と課題

1 概要

武蔵野市民文化会館の施設概要は、下記図1のとおりです。

【図1】施設概要

名 称	武蔵野市民文化会館
設置目的	芸術文化の振興及び市民福祉の増進
所在地	武蔵野市中町3丁目9番11号
開 館	昭和59年11月3日
敷地面積	7,646.46 m ²
延床面積	14,853.47 m ²
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上5階 地下1階

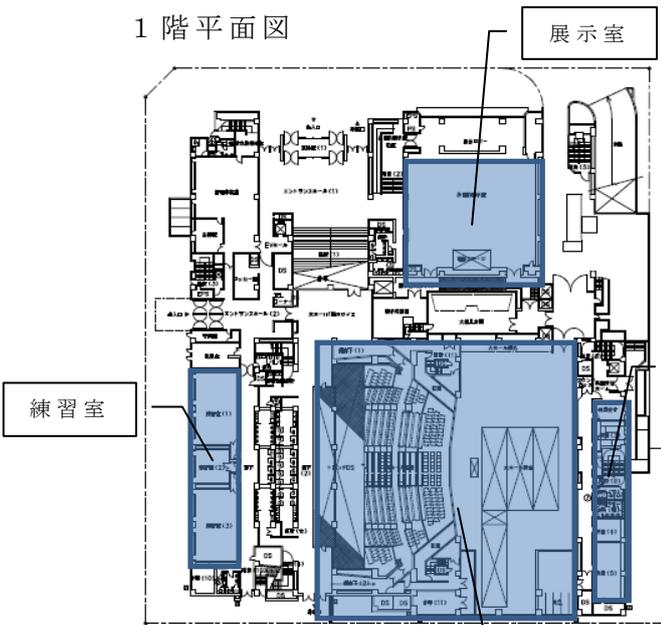
各フロア構成・平面図は図2・3のとおりです。なお、5階はスポットライトの操作などを行うフロアで、一般の方は利用しないフロアです。

【図2】各フロア構成

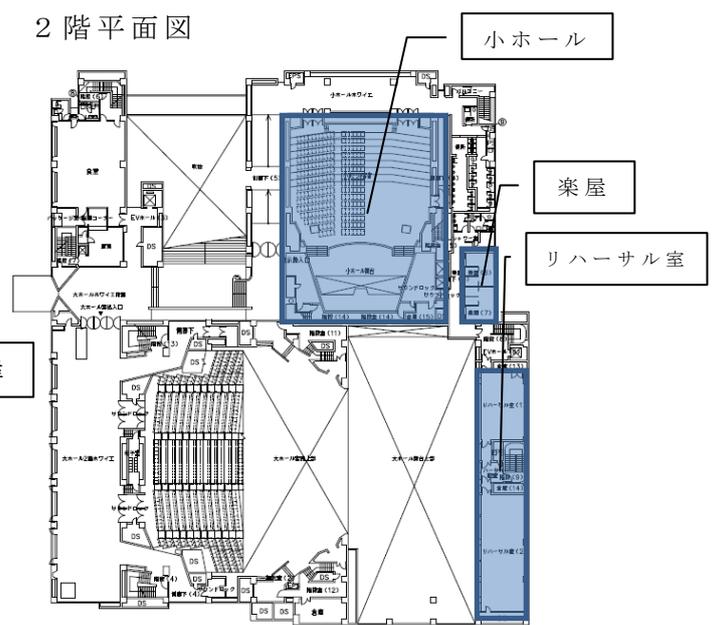
フロア	フロアの構成
5階	天井部照明室など
4階	第1和室（10畳）、第2和室（10畳） 茶室（広間10畳、小間4.5畳）
3階	第一会議室（87 m ² 定員34名） 第二会議室（49 m ² 定員19名）
2階 ※ホール入口フロア	大ホール（定員1,370人） 小ホール（定員474人） 第1リハーサル室（61 m ² ） 第2リハーサル室（102 m ² ） 喫茶店
1階	展示室（広さ347 m ² ）、 第1練習室（74 m ² 定員37名） 第2練習室（80 m ² 定員10名） 第3練習室（81 m ² 定員36名） 第3楽屋（19 m ² ）、第4楽屋（16 m ² ） 第5楽屋（43 m ² ）、第6楽屋（19 m ² ） 第7楽屋（19 m ² ） 託児室（26 m ² ） 事務室（チケット販売、施設予約など）
地下1階	第1楽屋（29 m ² ）、第2楽屋（19 m ² ） 駐車場

【図3】 平面図

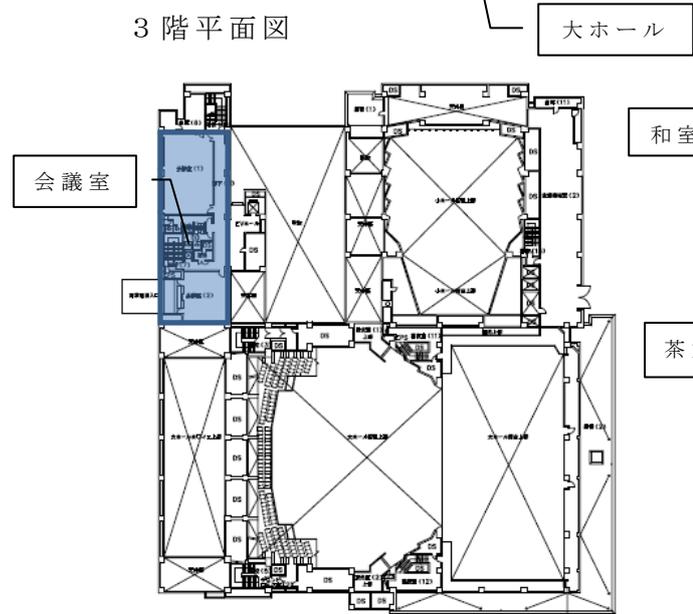
1階平面図



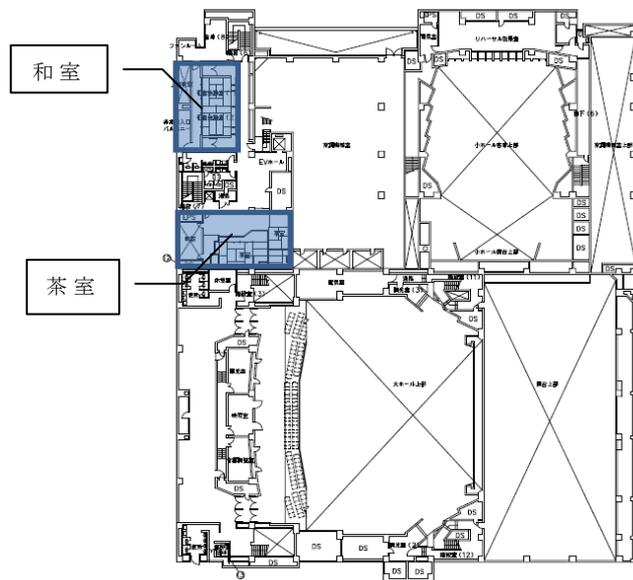
2階平面図



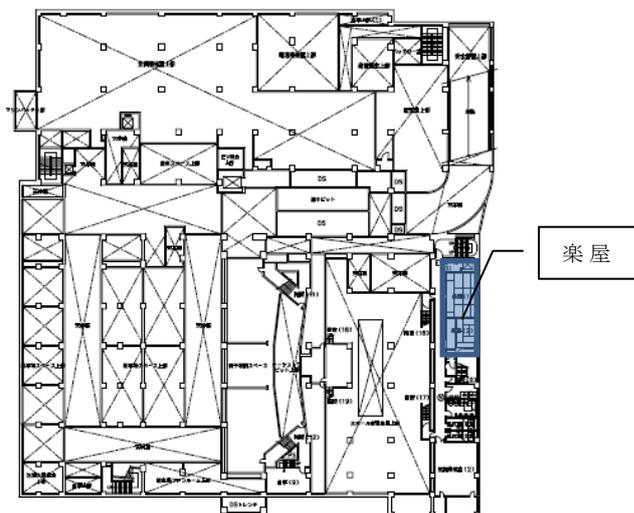
3階平面図



4階平面図



地下1階平面図



2 位置付けと役割

(1) 位置付け

武蔵野市民文化会館（以下「本施設」という。）は、「市民文化創造の拠点として」設置され、昭和 59 年の開館以来、三層構造（※1）における市全域レベルの施設という位置付けの中で、本市の文化芸術活動の中核施設として、多くの市民に利用され、親しまれてきました。

また、施設規模及び設備の充実度などの面において、市内で最も充実した文化施設です。

(2) 役割

本市には8つの文化施設があり、各施設の特徴を活かした事業が、指定管理者により下記施設で行われています。また、主催事業、学校行事などの開催、施設の貸出によって、市民の文化芸術活動の振興を図っており、本施設は本市の文化行政の中核施設です。

施設名	主な催事など
武蔵野市民文化会館	クラシック音楽、演劇、伝統芸能及びバレエなど
芸能劇場	人形劇、落語及び展示会など
武蔵野公会堂	講演会など
スイングホール	ジャズ、民族音楽、レセプションなど
吉祥寺美術館	展示会、ワークショップなど
松露庵	茶会、寄席など
吉祥寺シアター	演劇、ダンス及びバレエなど
かたらいの道市民スペース	展示会など

出典：事務報告書

(※1) 三層構造とは市民の生活空間を、地域生活単位としての「コミュニティレベル」、より広い交流を図る「駅勢圏レベル」及び「市全域レベル」に分類し、適切なレベルに計画的に施設配置する考え方です。

3 現状と課題

(1) 施設の現状と課題

本施設は、施設・設備面（以下「施設など」という。）において質の高い施設です。また、長期修繕計画（平成 16 年度策定）と施設などの劣化調査などに基づき、故障を予防するために計画的に改修が実施され、指定管理者である公益財団法人武蔵野文化事業団によって適切に維持管理が行われています。そのため、今回適切な改修を実施することで、今後 30 年活用していきたいと考えています。

改修案の検討をするために、老朽化した施設等の現状を把握し、下記のとおり次の3つの課題に整理しました。

① これまでは、施設サービスの低下期間を最小限に抑えるため、8月

に約1ヶ月間の休館をし、可能な改修を実施してきました。この期間の制限から、改修に1ヶ月以上を要する施設などは先送りとなってきた経過があり、経年劣化・老朽化が著しい状況にあります。こうした未更新の設備などの故障のリスクが高まっているため、改修を通じて、施設などの安全性を高め、安定的な管理運営を確保する必要があります。

- ② 東日本大震災では、体育館などの天井が脱落し、大きな被害が発生したことは記憶に新しいことです。このことを踏まえ、国が天井の脱落対策に係る新たな基準を検討しています。その耐震基準（既存天井は未制定）など、災害などに伴い改正される法令基準に対応して、施設などの安全性をより高める必要があります。
- ③ 近年建設された文化施設（または類似施設）と比較するとバリアフリー対策、省エネなどの環境対策が実現できていない現状があります。こうした関係法令及びニーズの変化などに対応できていないという課題があるため、本改修を通じて、社会の変化や利用者のニーズに対応した文化施設としての機能や利便性の向上などを図る必要があります。

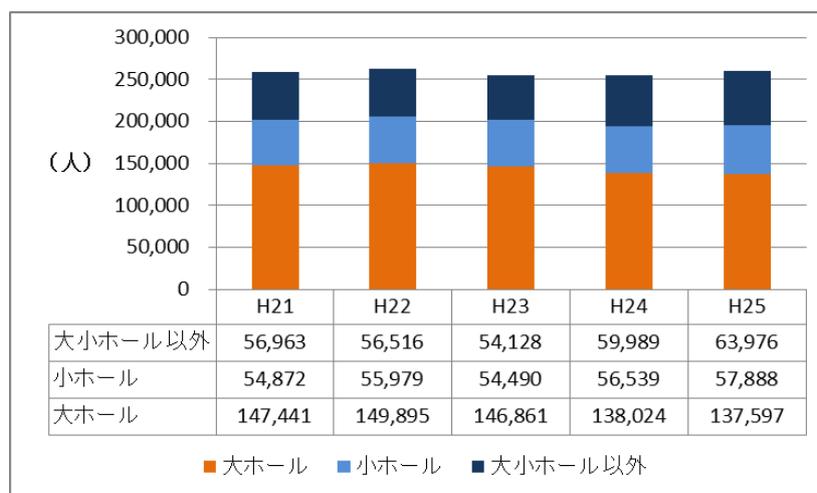
（2）利用状況

本施設を含む文化施設については、毎年利用者にアンケートを実施し、その回答をもとに利用者モニタリング(※2)を実施しており、その結果などから現在の利用状況を把握しました。

① 利用者数

図4のとおり、本施設の年間利用者数は約25万人です。収容人数が多い大小ホールの利用者数が多いですが、練習室などの各部屋の利用者数も約5万人おり、多くの市民が本施設を利用しています。

【図4】利用者数の推移

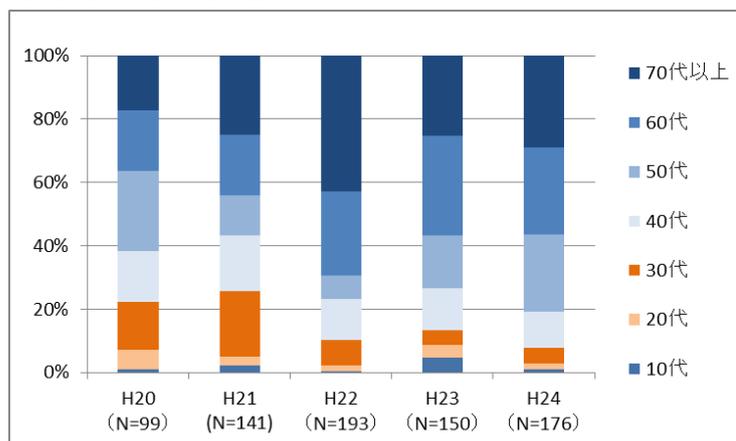


出典：(公財)武蔵野文化事業団集計

② 利用者層

図5のとおり、利用者の80%以上が50歳以上であり、利用者の高齢化が顕著です。なお、アンケートを実施するタイミングにより、利用者層は異なりますが、実施事業の内容から、ある程度利用者層が固定化している現状があり、若い世代の利用拡大が課題となっています。

【図5】利用者比率の推移

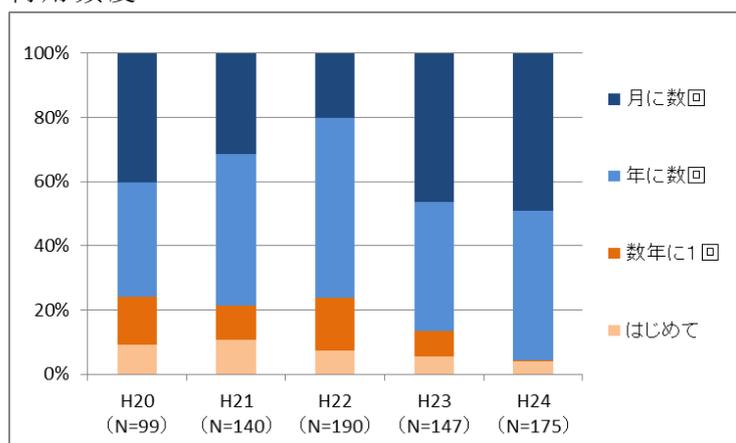


出典：利用者モニタリング

③ 利用頻度と満足度

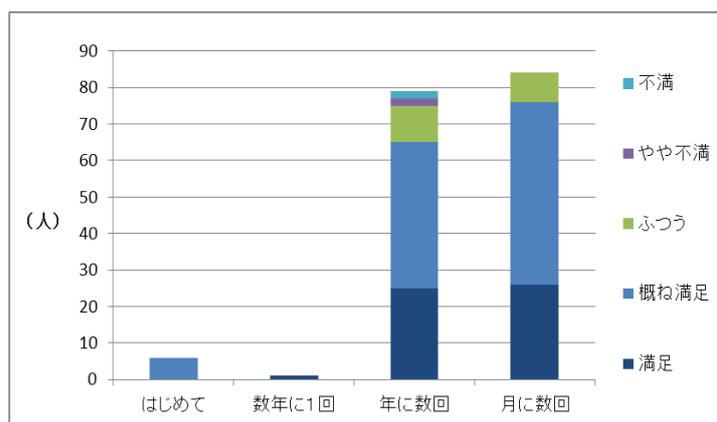
図6のとおり、利用者はリピーターの割合が多いのが特徴です。また、図7から、利用者が事業などについて高い満足度を得ることによって、次の来館につながるという好循環がおきていることが推測できます。その一方で、新規利用者の開拓が求められています。

【図6】利用頻度



出典：利用者モニタリング

【図 7】 利用頻度と総合満足度の関係



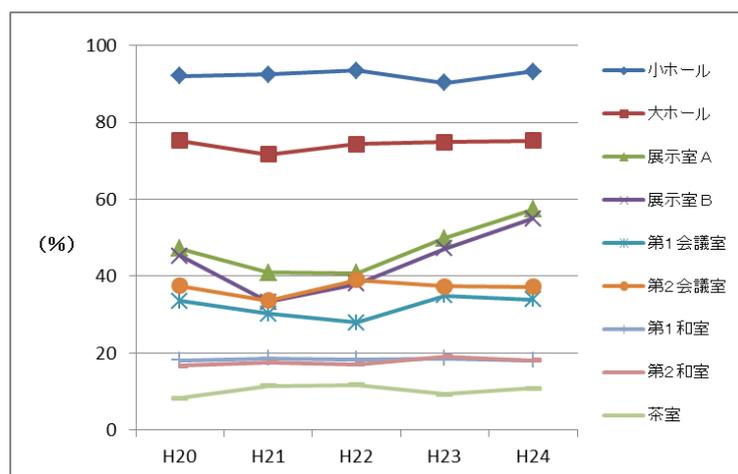
出典：平成 24 年度利用者モニタリング

④ 各室の稼働率

図 8 のとおり、過去 5 年間の稼働率は、室毎に大きく傾向が異なります。

- ・ 大ホール及び小ホールは、事業の実施及び貸館により稼働率が比較的高いです。ただし、大ホールと小ホール間の防音機能の制約から、事業に応じてホールの同時使用を控えているのが現状です。
- ・ 展示室は、年度によって稼働率は異なりますが、50%付近を推移しています。
- ・ 大ホール等の他の施設と比較して、茶室及び和室は稼働率が相対的に低いです。

【図 8】 室別稼働率



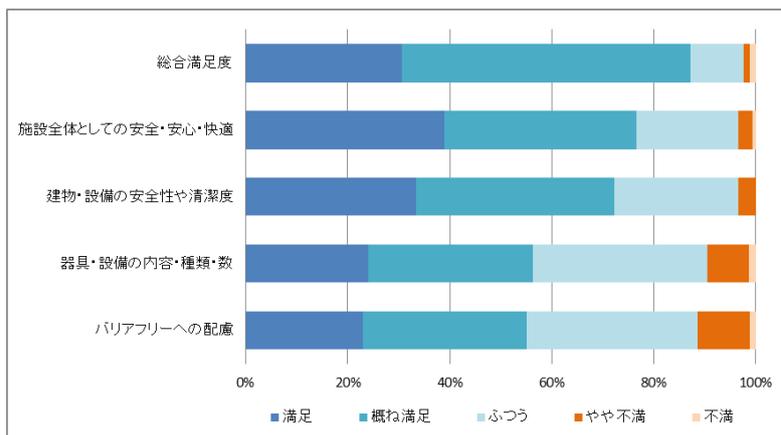
出典：事務報告書

⑤ 設備・器具等に対する評価

図 9 のとおり、アンケートの総合満足度では 80%以上の満足度（満足及び概ね満足の割合）を得ており、また、施設全体としての安全・安心・

快適性に関する評価や建物・設備の安全性や清潔度に関する満足度についても、約 70%の満足度を得ています。一方で、改修に関連する項目である、「設備・器具の内容・種類・数」、「バリアフリーへの配慮」は満足度が他の指標と比較すると評価が低く、平成 24 年度については約 55%となっています。

【図 9】指標別の満足度比較



出典：平成 24 年度利用者モニタリング

平成 24 年度に実施した利用者アンケートへの自由回答記述欄で、施設などに関するコメントでは、トイレへの温水便座の設置要望、座席の間隔が狭いことなどに関するコメントが見られます。家庭においては、洋便器化や暖房便座などの高機能化が進み、民間の映画館等においては、座席幅を拡張することでサービスの向上を図っています。一方、開館以来 30 年を経過した本施設の設備水準が、近年の要求水準に追いついていないことが、利用者モニタリングにおける「器具・設備の内容・種類・数」や「バリアフリーへの配慮」への満足度の低さの要因と推測されます。

(※ 2) モニタリングとは、条例や協定などに基づき、適切かつ確実なサービス提供を行っているかを確認し、評価する仕組みです。

第2章 改修に関する基本的な考え方

1 文化施設再整備の考え方

平成24年度からの10年間を計画期間とする武蔵野市第五期長期計画（以下「長期計画」という。※3）では、総合的・計画的な観点から文化施設の整備を推進していくことを掲げました。長期計画に基づいて、武蔵野市行財政改革アクションプラン（※4）や武蔵野市公共施設再編に関する基本的な考え方でも、武蔵野市民文化会館は必要な改修を加えながら継続して利用していくという方向性を示してきました。

これらの計画などを踏まえて、本施設の改修案を検討します。

武蔵野市第五期長期計画（平成24年4月）：p39(3)文化施設の再整備

市民文化の拠点である公共施設の中には、老朽化やバリアフリー等の課題を抱える施設や、他の施設と機能が重複している施設もあり、既存の役割、機能を勘案しつつ、総合的、計画的な観点から整備を推進していく。（以下略）

武蔵野市公共施設再編に関する基本的な考え方（平成25年3月） ：p9(6)駅周辺の面的整備

本市はこれまで吉祥寺地区と武蔵境地区は駅周辺に、中央地区は旧市役所周辺に文化施設等の公共施設を集約するまちづくりを進めてきた。

吉祥寺地区では老朽化が進んだ公会堂の建て替え、吉祥寺駅南口の再開発、イースト吉祥寺のまちづくりなどの課題がある。これらを踏まえて駅周辺全体を面としてとらえた公共施設の配置を検討していく。

公会堂については、市全体におけるホール機能の在り方を検討するとともに、その立地を活かし、民間も含め吉祥寺のまちづくり全体を視野に入れた検討を行っていく必要がある。

中央地区の市民文化会館や中央図書館などは、必要な改善を加えながら今後も数十年にわたって利用していく公共施設である。これらが建替えを迎えるまでは、中町一丁目の暫定駐輪場を活用して集約すべき大規模な公共施設は想定できない。（以下略）

2 目的

安全で時代のニーズに合った使いやすい施設に改修することで、質の高い施設サービスを提供し、今後30年活用することを目指して改修を行います。

3 基本的な視点

今回の改修は「本施設の生涯の供用期間中に一度か二度行う、その寿命を全うするために必要となる改修」という位置付けです。

改修内容などについては、下記6つの基本的な視点として整理しました。なお、(2)から(6)は、開館以降の法的要求や利用者ニーズの変化などに伴う課題に対応するため、開館当初より機能を向上させることを目的としているので、その改修を機能向上とし整理しました。

(1) 劣化改修

劣化改修とは、供用開始以来30年経過したことにより、劣化した施設などの機能の水準を、開館当時の機能水準まで回復させる改修、と定義しました。劣化改修を実施することで、今後も市民文化創造の拠点としての機能を維持し、安全で安定した施設サービスを提供します。

(2) 文化施設機能性

市民文化創造の拠点として、備えるべき機能などを整備します。

今後も本市の文化芸術活動の拠点として、質の高い芸術・文化を継続的かつ安定的にサービスを提供するため、舞台設備（舞台機構・音響・照明）を中心に施設・設備などを充実させます。

(3) 安全性

平成23年3月に発生した東日本大震災を踏まえ制定された天井の耐震基準（既存建築物は未制定）など、災害等に伴い改正される法令基準に対応します。

劣化改修と同様に、利用者の安全・安心のため特に必要とされる改修です。

(4) 利便性

多くの市民が使い易い施設とするため、バリアフリー、ユニバーサルデザインなど、関係法令などに対応するように整備します。

本市では、平成23年4月に武蔵野市バリアフリー基本構想(※5)が策定され、その基本構想において、本施設は重点整備地区内の生活関連施設となっています。また、平成24年4月には武蔵野市公共サインガイドラインが策定されており、利用者の利便性を向上するために、バリアフリーの推進及び公共サインの整備などを行います。

(5) 公共性

省エネルギー、地球環境寄与など、公共施設として備えるべき機能について関係法令などに対応するよう整備します。

平成23年4月に第三期武蔵野市環境基本計画(※6)が策定されました。その基本計画の方針の一つとして、環境にやさしい暮らし方への転換を掲げています。本施設の改修においては、公共施設における環境負荷軽減施策の実施に向けた改修を行います。

なお、市では現在「武蔵野市新たなエネルギー活用検討委員会」の検討

を踏まえ、公共施設エリア（本施設・第一中学校体育館）を対象としたエネルギー削減手法を検討しています。エネルギー削減手法の計画も見据えて、可能な範囲で改修にその内容を反映します。

（6）経済性

納税者の視点から、ライフサイクルコストの適正化など、税の適正な支出を図る改修をします。

本市では持続可能な市政運営を目指し、「武蔵野市公共施設再編に関する基本的な考え方」（平成25年3月）において、「今後も継続して使用する既存施設については、安全性や利便性など必要な改善を計画的に実施して長寿命化を図りながら、原則60年は使用していく」としています（※7）。また、節水や省エネルギーなどが期待される設備は可能な範囲で改修し、ライフサイクルコストを適正化します。

（※3）長期計画とは、長期計画条例に基づき策定するもので、市の目指すべき将来像を明らかにするとともに、政策資源の有効活用を図りながら総合的かつ計画的な市政運営を推進することを目的としています。

（※4）武蔵野市行財政改革アクションプランとは、第五期長期計画の行財政分野の施策を推進していくための具体的な取組みです。

（※5）武蔵野市バリアフリー基本構想 第3章三鷹駅周辺 3.重点整備地区の位置及び区域 2生活関連施設 p50、p51、p63 参照

（※6）第三期武蔵野市環境基本計画 4環境方針の展開 環境方針2 p24

（※7）武蔵野市公共施設再編に関する基本的な考え方 4公共施設再編の考え方 p7

第3章 改修案の検討と立案

1 改修案の立案と概算工事費用

平成 26 年 3 月に策定した武蔵野市民文化会館改修基本計画において、利用者モニタリングなどを参考にしながら改修項目を抽出し、基本的な視点をもとに、4 案を立案しました。

平成 26 年度にはいり、下記のとおり、改修項目の必要性、効果、概算工事費用の妥当性などを再検証して、14 ページの図 10 のとおり、1 つの改修案に絞り込みました。

改修項目は、市として今回の改修で実施すべきと考える項目です。なお、工事費用は概算であり、今後具体的に検討していく過程で、より正確な金額を算出します。

改修案について、市民の皆様のご意見をうかがうため、平成 26 年 7 月に市民説明会を 3 回開催し、また、パブリックコメントの募集を行いました(資料 1 参照)。そこで頂いたご意見と市の対応等については、資料 2「改修案に対するご意見と市の対応・考え方」をご覧ください。

その中で概算工事費用に関するご意見をいただいておりますが、基本計画段階では目視等、現状調査には限界があり、今後、基本設計を行っていく中で、専門業者やメーカーの調査、計測などによりその精度を高め、過不足のない適切な改修内容とするとともに、更なるコスト削減を図ります。

財源については、ほとんどを基金繰入金と市債借入金とする予定としています。これまで、着実に基金積立を行い、基金総額は約 358 億円にのぼり、そのうち公共施設の更新や大規模改修に備えた公共施設整備基金は、約 120 億円となっています。また、市債残高は約 192 億円となっており、本市の財政規模からみれば健全な水準です。このため、この改修をすすめることにより、予定している他の事業に大きな影響を与えることはないと考えます。

< 検討経過 >

平成 26 年

3 月

基本計画にて 4 案を立案



4 ~ 5 月

改修案の検討

- ①概算工事費用及び改修内容などの精査
- ②舞台特殊設備などについてセカンドオピニオンを実施
- ③パイプオルガンの耐震補強やエネルギー利用効率化を検討



6 月

改修案の取りまとめ



7 月

市民説明会の開催（3回）
パブリックコメントの募集



8 月

改修案（平成 26 年 8 月）の取りまとめ

【図 10】改修案

(単位：千円)

基本的な視点		改修項目	概算工事金額	小計
劣化改修		舞台特殊設備	1,142,500	2,131,900
		電気設備・機械設備	989,400	
機能向上	文化施設 機能性	大小ホールの客席の改修	234,600	1,132,200
		大小ホール間防音対策の見直し	0	
		空調システム見直し	168,100	
		練習室・リハーサル室の防音対策	113,300	
		舞台特殊設備機能の改善	62,000	
		展示室の改修	121,400	
		各所内装改修	278,500	
		事務所機能の改善	131,700	
		建具改修	22,600	
	安全性	大空間天井耐震性強化	373,300	450,100
		パイプオルガン耐震改修・ オーバーホール	26,000	
		エレベーター安全装置設置	35,400	
		エレベーター遮煙装置設置	11,400	
		防火シャッター挟まれ防止	4,000	
	利便性	トイレ・給排水管の全面改修	353,800	503,100
		大ホールエレベーター・ 正面玄関エスカレーター設置	97,100	
		バリアフリー	17,700	
		サイン改修	17,700	
		湯沸し器などの改修	12,800	
		駐車場改修	4,000	
公共性	照明改修	100,500	368,600	
	電気設備	87,400		
	エネルギー利用の効率化	180,700		
概算工事費用合計			4,585,900	

※今回の改修に伴い、市民文化会館の耐震調査を実施します。耐震調査の結果を踏まえて、耐震補強工事の実施の必要性などを検討します。

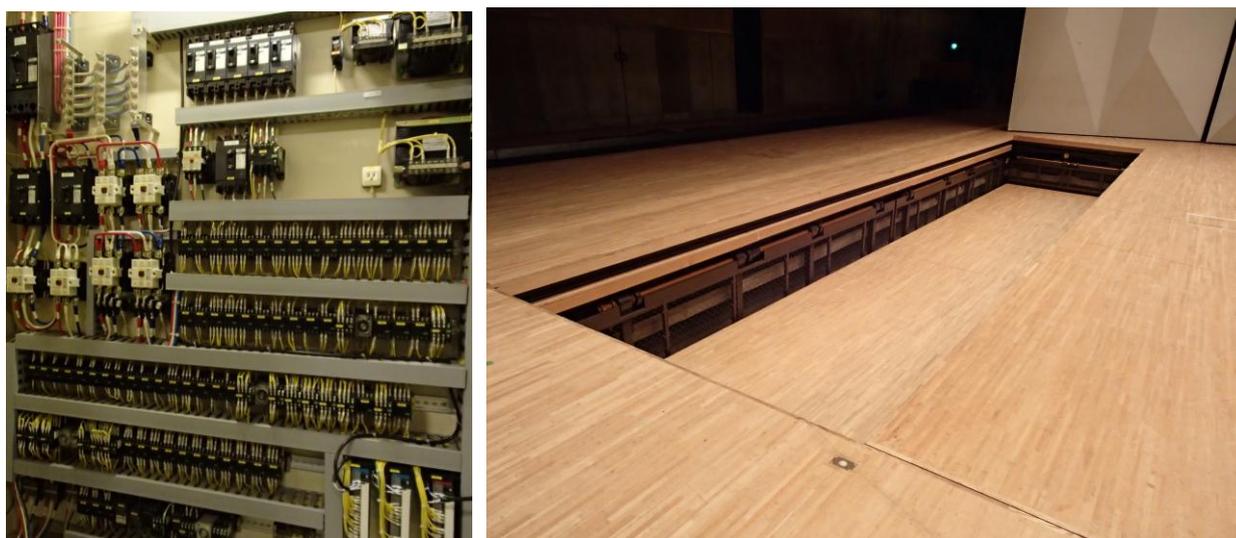
※「大小ホール間防音対策の見直し」とは、ホールでの催事で発生した大音量の音が、大小ホール間で遮音できず、壁などを伝わりもう一つのホールに響くという現状の課題を解決するための対策です。音響コンサルタントなどに対策の効果や概算工事費用などについて意見を求めましたが、施設の構造上、完全な防音の保証は困難という見解が出されたため、改修は見送ります。

2 主な改修内容

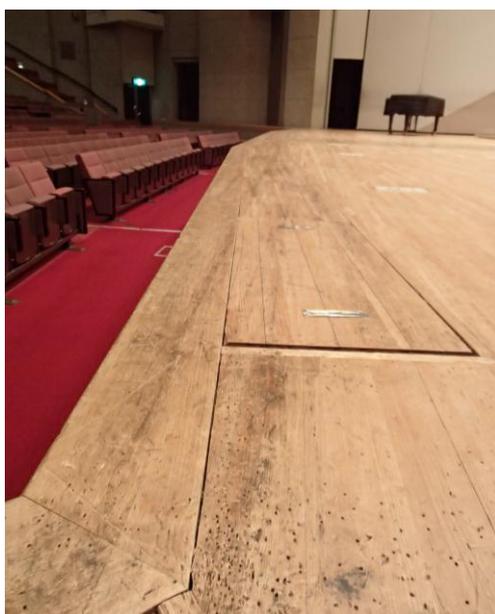
改修案【図 10】で提示した主な改修内容については、以下のとおりです。

- (1) 劣化改修一例 舞台特殊設備（大ぜりなど）
概算工事費用 11億4250万円

大ぜり（舞台道具や楽器の搬出入のため、舞台が上下する仕組み）などの舞台機構を制御する部品などは、開館当初から使用しており、改修により突発的な故障を予防し、安定的な施設などの管理運営体制を確保します。



※大ホールにある大ぜりを制御する部品は、一部製造中止になっており、安定的な設備の管理運営のために改修が必要



※大ホールの舞台は、人や舞台道具の搬出入などにより傷や汚れがあり、張り替えなどが必要

(2) 劣化改修一例 電気設備・機械設備（空調機など）

概算工事費用 9億8940万円

屋上に設置されている空調室外機などは、開館当初から使用しており、改修により突発的な故障を予防し、安定的な施設などの管理運営体制を確保します。



※配管に錆が発生している

(3) 文化施設機能性一例 大小ホール座席の改修

概算工事費用 2億3460万円

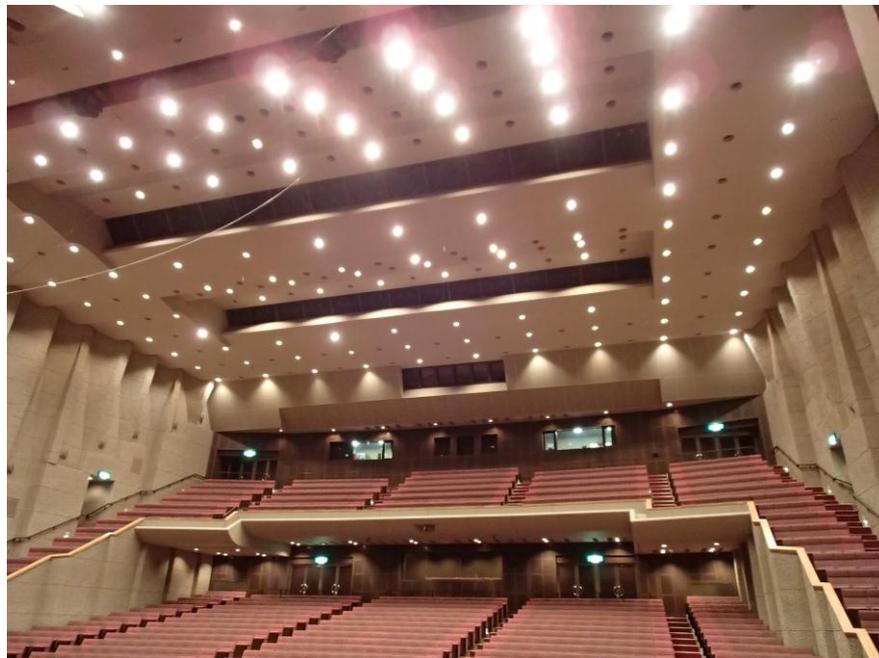
現在の音響機能に配慮しながら、未更新の大ホールの座席幅の拡張などにより、快適性を向上させます。



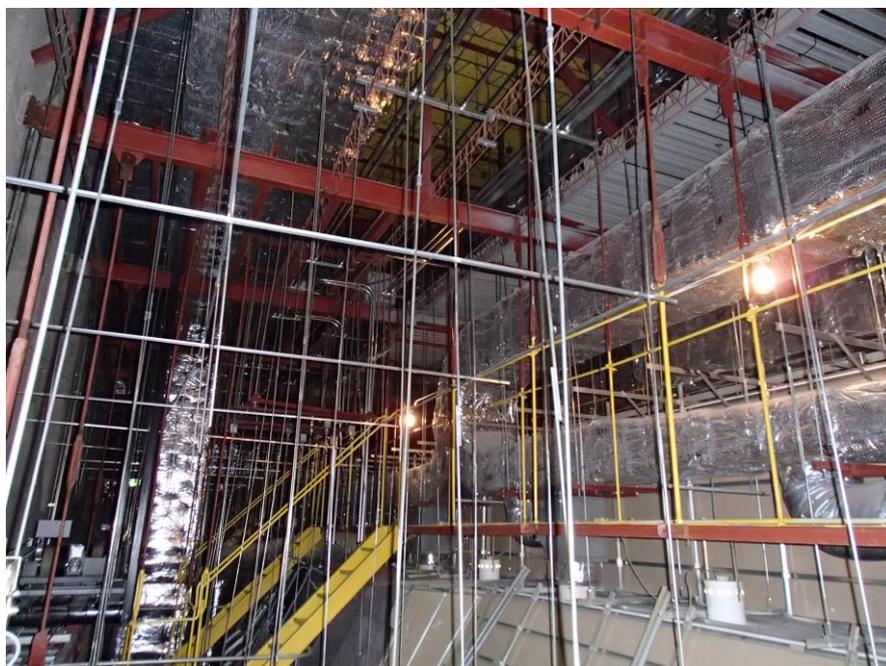
※30年前の仕様のため、座席幅は狭く、また、座席に傷みが目立つ

(4) 安全性一例 大空間天井耐震性強化 (大小ホール・エントランス天井)
概算工事費用 3億7330万円

東日本大震災後に制定された天井の耐震基準など、災害等に伴い改正される法令基準に対応して、安全性を向上させます。



※市民文化会館大ホールの天井



※天井裏の吊り高さが高く、地震の影響を受けやすい
(写真は、大ホール天井を吊る設備など)

(5) 利便性一例 トイレ・給排水管の全面改修（多機能化など）

概算工事費用 3億5380万円

開館当初から使用し続けてきた便器や給排水管などを更新します。暖房便座などの機能を持つ多機能便座に更新し、快適性を向上させます。



※管の接続部分が劣化しているため、テープで補修

(6) 利便性一例2 大ホールエレベーター・正面玄関エスカレーター設置

概算工事費用 9710万円

バリアフリーの推進のため、正面玄関にエスカレーターを設置し、利便性を向上させます。



※正面階段のいずれかの場所に、エスカレーターを設置予定

(7) 公共性一例 エネルギー利用の効率化

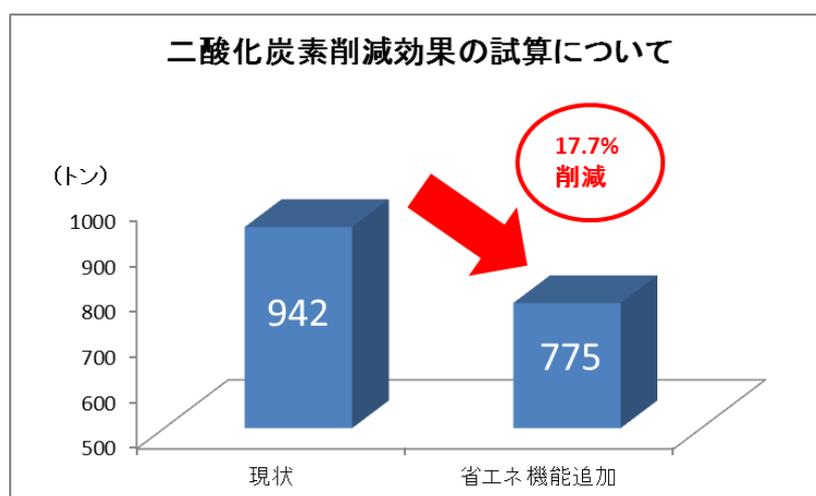
概算工事費用 1億8070万円

既存の空調設備のコージェネレーション化（発電とともに排熱を冷暖房に利用）や再生可能エネルギー（太陽熱温水）の利用により、エネルギー利用の効率化を図ります。また、非常時の自立分散型電源として活用するために、当該施設から第一中学校体育館に電力を融通できるよう改修します。



※市民文化会館の屋上に、上右写真の太陽熱集熱器を設置するイメージ

エネルギー利用の効率化により、下記のとおり、二酸化炭素削減効果が見込まれます。



出典：東京ガス試算結果による

資料1 市民説明会及びパブリックコメントの概要

■ 市民説明会

武蔵野市民文化会館改修案について、市民の皆様から直接ご意見をいただくことを目的に実施しました。

- 1 開催日時 ①平成26年7月10日（木曜日）19時から21時まで
・ 商工会館 市民会議室
開催場所 ②平成26年7月12日（土曜日）15時から17時まで
武蔵野市民文化会館 第一会議室
③平成26年7月15日（火曜日）14時30分から16時10分まで
武蔵野プレイス フォーラム
- 2 内 容 ①武蔵野市民文化会館改修案の概要についての説明
②質疑応答、意見交換
- 3 参加者 ①平成26年7月10日（木曜日） 9人
②平成26年7月12日（土曜日） 13人
③平成26年7月15日（火曜日） 21人

■ パブリックコメント

武蔵野市民文化会館改修案について、市民の皆様から直接ご意見をいただくことを目的に実施しました。

- 1 募集期間 平成26年7月1日（火曜日）から7月21日（月曜日）まで
- 2 広 報 ホームページ、フェイスブック及び市報（平成26年7月1日号）
- 3 応募者数 17人

資料2 改修案に対するご意見と市の対応・考え方

番号	項目	意見要旨	市の対応・考え方
1	改修内容	舞台上の大ゼリ、横ゼリ、小ゼリ、オケピットの確保	基本設計で舞台機構の仕様等について検討を行います。利用頻度が少ないスライディングステージの改修は行わない予定です。
2	改修内容	小ホールー多目的に使うため、パイプオルガンを目隠し用のスライド幕	小ホールは音楽専用ホールという位置付けです。多目的に使用するための改修は予定しておりません。なお、現在も、パトンから幕を吊るしてパイプオルガンを目隠しして、ご利用いただけます。
3	改修内容	小ホールー舞台前面に暗転幕または幕を設置	現在も、音響反射板を使用していない時は、幕をご利用いただけます。
4	改修内容	ホール座席の前後間隔を、もう少し広くとって欲しい。	客席の前後間隔を広げる場合、現在の階段状の床を全面的に改修する必要があります。その改修は、工事費用が大幅に増加する見込みがあるため、広げる予定はありません。
5	改修内容	先日も市民文化会館を利用したが、ホールはほぼ満席であった。座席幅の拡張とあるが、拡張すれば座席数は減少すると思うが、どのようになるのか？	座席幅の拡張により、約10%程度の座席数の減少が見込まれています。
6	改修内容	障害者の席は車椅子の方のみ特別席になっていますが、いろいろな程度の方がいるので、もう少し対応をきめ細かにしてほしい。	車椅子の方の場合、特別なスペースが必要なため、車椅子席を設置していますが、障害をお持ちの方やサポートを必要とする方については、個々の状況に応じて客席係が対応しています。今後とも、より一層のサービスのご提供が出来るように検討します。
7	改修内容	席につくまで階段ばかりの印象です。特に2階席の場合は、一つひとつの階段が高くて、あがるのにひと苦労する。	ホール内の階段状の床の高さを変えようとした場合、2階部分全体を壊す必要があります。勾配を緩くした場合、ステージが見えづらくなることも考えられ、改修は困難です。今回の改修で2階席へのアクセスを改善するため、大ホールのホワイエから2階席へ移動するためのエレベーターを設置する予定です。
8	改修内容	エレベーターを2Fから3Fへ設置	今回の改修で、大ホールホワイエから2階席へ移動するためのエレベーターを設置する予定です。

番号	項目	意見要旨	市の対応・考え方
9	改修内容	エレベーターの標示	改修において、館内の部屋などの標示を見直します。利用者がわかりやすいエレベーターの標示を検討し、利便性の高い施設にします。
10	改修内容	中央階段エスカレーター(上り・下り)を付けてほしい	設置費用及び維持管理費用などを考慮して、上り下り兼用のエスカレーターを設置する予定です。
11	改修内容	トイレを多く作っていただきたい。	現状のトイレ室内だけでは、個数を増やすことが困難です。基本設計では、現状のトイレの利用状況やトイレを増設する空間が確保できるかなどを調査し、検討します。
12	改修内容	障害者対応型のトイレも作っていただきたい。	現在も大ホール、小ホールと1階の事務所脇の3箇所に「誰でもトイレ」が設置されています。今回の改修では車いす対応だけでなく、オストメイト設備も設置します。
13	改修内容	席によってはトイレに行くのにも、また階段を利用しなければなりません。トイレの場所をもう一考していただきたい。両サイドにあると便利。	基本設計では、現状のトイレの利用状況やトイレを増設する空間が確保できるかなどを調査し、検討します。 なお、今回、大ホールはホワイエから2階席へ移動するためのエレベーターを設置する予定です。
14	改修内容	大・小ホール部分では開演前、休憩時間、終演後のみの使用です。必要なものは数と清潔であり、多人数での使用が前提の公共施設ではトイレシート或は便座クリーナーの設置で充分ではないか。	基本設計では、現状のトイレの利用状況やトイレを増設する空間が確保できるかなどを調査し、検討します。 また、老朽化した衛生配管の更新に伴い、便器なども更新します。近年、一般家庭でも洗浄機能付き保温便座が主流となってきましたので、今後、30年を見据え、利用者ニーズに応じた改修仕様とする予定ですが、いただいた意見を参考にして、改修の範囲を検討します。
15	改修内容	大・小ホール、練習室まわり、楽屋部分のトイレも増設のご検討をお願いいたします。	楽屋、練習室のトイレを増設する場合、それぞれの面積が減りますので、増設は難しいと考えています。
16	改修内容	トイレ 和式、洋式をウォシュレット付を確保	和式を確保するとともに、洋式については洗浄機能付き保温便座に改修する予定ですが、いただいた意見を参考にして、改修の範囲を検討します。

番号	項目	意見要旨	市の対応・考え方
17	改修内容	もし維持経費にパイプオルガンの所蔵が影響しているのであれば「パイプオルガンは本当に本市に必要なのか」から考えるのも、一案ではないか。	パイプオルガンは、設置には多大な費用がかかりましたが、通常の維持管理費用はそれほどかかっていません。武蔵野市では国際交流や文化振興などの観点から、国際オルガンコンクールの開催をはじめとし、多くのオルガンを活用した事業を行っています。今後も活用していくために、今回は、30年経過したことからオーバーホールと耐震補強工事を実施します。
18	改修内容	そもそも14万都市武蔵野市に、武蔵野市民文化会館のような大きな施設が必要なのか？また、パイプオルガンも必要なのか？	施設の要否についての評価は難しいですが、現在も高い利用率であることは事実です。パイプオルガンの稼働率は、小ホールの利用率のうち、22.3%を占めており、稼働率は高いです。
19	改修内容	老朽化対策とか耐震化とかおっしゃってますが、危険なほどに老朽化し、耐震化がおくれているのか？ 端的に言ってデータ不足のように思われる。	老朽化対策では、建物の工事履歴などの記録を基に市有施設の計画的保全に努めています。文化会館でも毎年、約1か月間休館して可能な範囲の修繕は行ってきました。しかし、30年間更新をしていない舞台機構や設備配管などは、1年間かかる抜本的な改修工事が必要な時期となっておりますので、今回、これまで着手できなかった老朽化対策を行いたいと考えています。また、耐震では法定基準は満たしていますが、文化会館は地域防災計画、ボランティアセンターの位置付けなので、この機会に災害業務施設に見合う耐震性強化を検討したいと考えています。
20	改修内容	今回の『改修案』には、「多くの市民に利用され、親しまれてきました」「(施設が)適切に維持管理されています」という記述がなされている一方、在り方検討委員会に指摘されているような、赤字経営体質や本来の目的から逸れてきている課題には言及していない。これでは暗に市民の意見を賛成に誘導しているようなものだ。	(公財)武蔵野文化事業団は、文化施設の管理運営を行う団体であり、そのあり方については、現在、財政援助出資団体の見直しにおいて議論されています。改修案では、市の責任で行う施設・設備の改修というハード面を取り上げました。
21	改修内容	今回当日いただいた資料は具体性にかけます。どう改修するのか、金額はいくらなのか。安全面以外の必要性がどれだけあるのか。	今回改修案を公表した目的は、設計業者と本格的な契約をする前に、市民の皆様のご意見をうかがう機会を設けたものです。市では今回、「武蔵野市民文化会館改修案」に示した改修項目、概算工事金額を基本設計をすすめ、具体的な改修内容を提示する予定です。
22	改修内容	周辺的な事柄には最小限の予算投入でよろしいのではないかと。最も大切なことに予算を使っている結果として、ホールが古めかしいままであっても、何を恥じる必要があるのか？ 市当局の見識を問いたいと思います。	ホールが古めかしいこと自体は、必ずしも悪いことではありません。施設・設備を所有する市としては、今後30年を見据え、利用者の安全性を確保することなどのために、ホールとしての機能とは直接関係ない施設・設備にも、必要な予算を投入する必要があります。
23	改修内容	耐震に関しては大丈夫ということなので、配管関係の修繕は必須ですが、エスカレーターにしろ、トイレ改修にしろ、複雑な機器は故障や事故も起きやすく、安全のための人員配置も必要となります。豪華さや使い心地で人を呼ぶ商業劇場と違ってそれは仕方ないのではないかと。	設置費用及び維持管理費用などを考慮して、上り下り兼用のエスカレーターを設置する予定です。また、近年、一般家庭でも洗浄機能付き保温便座が主流となってきましたので、今後30年を見据え、利用者ニーズに応じた改修仕様とする予定ですが、いただいた意見を参考にして、改修の範囲を検討します。
24	改修内容	楽屋エレベーター：第2リハーサル室へは階段以外では行けません。一部屋だけのために新規にエレベーター設置は難しいと思いますが、せめて第1リハーサル室内を通り抜ける事が出来るように通路を作ってくださいか、或は第1リハーサル室の裏を抜けるようにしていただけないでしょうか。又はスロープでも結構です。	新たなエレベーターやスロープの設置が難しく、また、通路により、第1リハーサル室の面積も減りますので、対応が難しいと考えています。

番号	項目	意見要旨	市の対応・考え方
25	改修内容	楽屋の標示	今回の計画では、各室の分かりやすいサイン計画の検討も予定しています。
26	改修内容	和室楽屋の換気が良くありません。常に何か臭います。改善をお願いしたい。	今回の計画では、空調機器の見直しの検討も予定しています。
27	改修内容	茶道連盟でお引受けしている事業に、土曜子供茶道教室、文化庁依頼の親子茶道教室があります。しかし、開催できる適切な場所がなく、非常に苦労しております。和文文化の中でも茶道は特に場所(茶室)が重要な役割を担っております。どうぞ、この辺りをご理解頂き、今度の改修案の中に是非ぜひ4階も入れていただきたく重ねてお願い申し上げます。	4階に設置されている和室及び茶室については、利用率が低迷しており、改善の余地があります。和室及び茶室の今後のあり方については、改めて市民の皆様の見聞を聞きながら検討する予定です。
28	改修内容	4Fの茶室についての再点検	
29	改修内容	合唱山台(椅子の並べてある台)への昇り降りにはグレー色の階段2種類を使用しています。手前の段数2段の物は問題ありませんが、後ろの段数3段の物は踏面の幅も50~60cm程度(推測です)でとても狭く、蹴上も高く非常に危険です。せめて、蹴上の高さが手前の物程度で、幅も倍程度に広くなり、尚且つ手すりが有れば不安なく使用できると思う。	より一層の安全性を鑑み、昇降階段については、安全性を考え、どのようなものが利用しやすいか検討していきたいと思います。
30	改修内容	自販機の設置をお願いいたします。大・小ホールに各1つ、楽屋口に1つ有れば助かる。(特に暑い時季には多くのお客様に問われますので、ガラス窓から見える「天進」さんの自販機をご案内しています。)	自販機については、すぐ近くの店に設置されているほか、近くにコンビニもあることから、現在の時点での設置は予定していません。
31	改修内容	改修工事以前に、やるべき改善希望が叶えられていません。美観以上に安全を考慮すれば、ホール内の階段には、段を目立たせる色違いテープや、ホールでの飲み物の許可、ホール入り口に休むベンチの配置など必要だと思います。現会館は、ホールとして求められる機能がどこかかけている。	公演の休憩時、終演時などはいっせいに人がロビーから出口へと向かうため、一定の広さを確保した上で、今以上のベンチの設置が可能か検討したいと思います。階段の段を目立たせる工事については、今年度中に対応したいと考えています。ホール内での飲食については、椅子などの設備維持管理上の問題があり、多くの方に施設をきれいな状態で気持ちよく使っていただくため、引き続きご遠慮いただきたいと思います。
32	改修内容	5月に開催された「全員協議会」では、いまだ予算執行停止になっているとうかがいます。市民のみなさんに了解を得るのであれば、建設当時のより深い反省と総括に立ち、一旦補修執行再度凍結し、部分補修や建て替えも視野に入れた、抜本的な見直しに向けた幅広い意見聴取の継続を求めるべきではないか。	市では、市民文化会館を今後も市の文化振興の拠点として利用する方針であるため、市民文化会館を通算60年利用することを前提に、改修案を検討します。

番号	項目	意見要旨	市の対応・考え方
33	改修内容	シャンデリアの強化	今回の計画では、シャンデリアの構造検証のほか、エントランスやホールの吊り天井の耐震性強化の検討も予定しています。
34	改修内容	小ホール・大ホールのおどり場の手すり(3段・6段)	今回の計画では、バリアフリー改善の検討も予定しています。
35	改修内容	大ホールの反響板に関わる音響設備	基本設計の中で、実現可能な検討は予定しています。
36	改修内容	私にはひとつだけ要望がある。それは音響です。文化会館にはそれが一番必要なことだと思います。文化会館自体の催事はクラシック音楽・演劇・伝統芸能・バレエなどアコースティック(エレクトリックサウンドに対して生の音響のこと)の音響を追求します。音響の点で今までちょっと不満足な点がありましたので、少しでも改善できたらいいなと思う。	小ホールは音楽専用ホールとして、音響については都内でも屈指と評価されています。大ホールについては、多目的ホールとして設計・建築されているため、音響面での改修を行ったとしても、劇的な音響の向上は難しいと思われます。
37	改修内容	改築日数の短縮を希望する	現在の工程でも厳しいと考えており、事前準備期間の確保など効率的な工事計画を立てることで対応する予定です。このため、改築日数の短縮は困難と考えています。
38	改修内容	改修内容は全て大賛成です。どうか必要なところには予算を惜しまないで。	必要な改修は実施し、その工事金額については、今後の設計の過程で精査していきます。
39	改修内容	耐震診断により、追加費用が発生するのではないかと？	耐震診断結果により、追加費用が発生する可能性がありますが、現時点では耐震診断の結果が出ていないため、金額は示せません。

番号	項目	意見要旨	市の対応・考え方
40	改修内容	大小ホール間の防音対策については、再検証中とある。この改修を行った場合、60億とかになるのではないかと？	防音対策を実施する場合は、改修費用は増加します。再検証した結果、費用対効果の観点より、防音対策は困難と判断しました。
41	改修内容	改修案18pのエネルギー利用の効率化については、改修すべきではない。災害時には、ガス供給が止まるので、意味がないのでは。	市民文化会館の近くには耐震性の高いガス管が通っており、信頼性が高いと考えています。
42	改修内容	大ぜりで11億は高額ではないかと？	せり以外の舞台音響や舞台照明も含めて、11億円です。
43	改修内容	市民文化会館については、今後30年だけではなく、その後も長く使って欲しい。	質の高い施設で、30年以上使うことも可能とされています。
44	改修内容	市民文化会館については、今後30年だけではもったいないので、コンクリートの中性化等色々な方法があると思うので、長期間使用していただきたい。	財務省の減価償却基準では、鉄筋コンクリート造建築物の耐用年数は50年程度となっていますが、市では原則60年間は使用していきます。公共施設は市民の大切な財産であるため、それ以上使用できるようにあれば使用していきたいと考えています。
45	改修内容	議会と市の関係において、改修案はどこまで話が進んでいるのか？市民の賛同をえるなど条件付きで進んでいると推定しているのだが。	平成26年3月の段階では、改修案を4案提示し、5月には全員協議会にて、改修案を議員の皆様に説明し、様々なご意見をいただきました。9月に再度全員協議会を開催し、改修内容を固めていきたいと考えています。劣化改修と機能向上項目である安全性等については改修の必要性を認めていただいたと受けとめておりますので、それ以外の機能向上項目について協議いただきたいと考えています。
46	改修内容	新耐震後に建築された建物であっても、地震等の影響で劣化していると思うので、耐震改修が必要なのでは？	法定の耐震性能は満たしていますが、市民文化会館は災害時のボランティアセンターという位置づけもあるため、1.25倍の強度を持たせたいと考えており、構造体の劣化等の調査を含めて、耐震診断を行う予定です。
47	改修内容	横ぜり(スライディングステージ)は使用しているのか？	使用頻度は少ないが、使用しています。しかし、今回改修の予定はありません。
48	改修内容	市民文化会館にいる技術者の意見はどのように、改修案に取り入れるのか？現場の人の方が、課題をよく把握していると思う。	(公財)武蔵野文化事業団が技術者などに意見を聞き、市がその意見を集約しています。

番号	項目	意見要旨	市の対応・考え方
49	改修内容	休館期間が1年間を超えたら、どのような要因が考えられるのか？	休館期間を流動的にさせる要因は耐震の改修です。この改修で全館休館期間に影響が出る可能性はありますが、改修工法を工夫するなど、極力、期間内に収めたいと考えています。
50	改修内容	小ホールの音響効果は非常にいいと評価が高い。検討されている防音対策によって、音響機能が悪化することはないのか？	音響機能が悪くならないように対応したいと考えています。
51	改修内容	大ホールの音響機能の改善は予定しているのか？	多目的ホールとして利用しており、現状の音響機能の維持を予定しています。
52	改修内容	パイプオルガンの費用を2,400万円計上しているが、どのようなことを予定しているのか？	パイプオルガンの耐震化およびオーバーホールを予定しています。
53	改修内容	楽屋が本当に使いづらく、迷路のようになっている、迷子になりそうだ。十分検討して欲しい。	今回の改修では、部屋の配置は見直しが難しいため、公共サインで対応していきたいと考えています。
54	経営	文化会館は初めから改修ありきで、経営収支はどこにも示されていない。	このたびの改修については市が行う工事であり、(公財)武蔵野文化事業団はあくまで文化会館の運営を受託しているため、同事業団の経営には影響はありません。市民文化会館の改修工事は、市全体の予算の中で執行します。
55	経営	武蔵野文化事業団の経営収支を教えてください。	平成24年度までは3年間赤字でしたが、平成25年度は黒字に転換しました。文化事業団の入場料収入のほか市からの公金をもとに管理運営しているため、赤字でいいとは思っていませんが、公益財団法人という制度上、民間企業のように儲けを追求することはできません。利益を出さずに、いかに市民にサービスを還元するかが課題です。
56	経営	運営団体である武蔵野文化事業団(将来は統合も検討されているそうだが)は『武蔵野市財政援助出資団体系在り方検討委員会報告書』で、「収入の約8割が指定管理委託料であり市への財政的依存度が高い状況にある」「市への財政的依存度が高い中で赤字経営となっていることから、事業費、管理費の抑制や受益者負担額の見直し等に務め、経営の健全化を進める必要がある。」と指摘されている。このような運営状態の事業を行う中核施設に、今後の事業内容や管理体制を具体的に検討しないまま45億円の大改修を行うことは、反対である。	市では、財政援助出資団体系の見直しを行っており、本年5月に策定した『武蔵野市財政援助出資団体系在り方検討委員会報告書』にも示したとおり、(公財)武蔵野文化事業団においても見直しすべき点が多々あると考えています。ただ、同事業団は市が管理運営を委託している指定管理者であり、市民文化会館等の施設の設置者はあくまで市です。したがって、市には、市民の利用に供するために施設を安全・適切に維持・保全していく責任があります。今回の改修はこのような理由によるものとご理解ください。

番号	項目	意見要旨	市の対応・考え方
57	経営	単にサービスの向上だけでなく、経営改善目標をはっきり示して欲しい。	(公財)武蔵野文化事業団の経営改善については今後も取り組んでいきますが、市の財源団体のあり方の見直しの議論に沿って、引き続き検討していきます。
58	経営	そもそも税金が減ると予想される中、今後市の財政依存はどの程度許容されるのか。	この度の改修工事にかかる財源は、主にこれまで積み立ててきた基金と市債を予定しています。現在、公共施設等総合管理計画策定本部を設置し、公共施設及び都市基盤施設の整備、改修、更新、運営の在り方の検討を行い、その中で財政見直しも検討します。
59	経営	市民説明会に団体責任者が出席せず、経営は市にお任せであり、市も当然と考える無気力に唖然とする。	(公財)武蔵野文化事業団は、市が指定管理者として指定しており、その指定した業務においては、同事業団が経営責任を負っております。施設・設備の管理は同文化事業団に委託していますが、改修の責任は市にあるため、市が市民説明会を開催していません。なお、第1回目の市民説明会には出席しませんでした。説明会での要望により、2回目以降は事務局長が出席しています。
60	経営	武蔵野市民が高齢者から赤ちゃんに至るまで一人当たり年間300円ほどが、あのホールの土地の借料として支払われていることのほうが遙かに大きな問題。この点について市当局および市議会はどのように考えているのでしょうか？	市民文化会館については、昭和59年建設で、まだ築後30年であり、必要な改善を加えながら今後も利用していく施設と位置付けています。したがって、今後も借地料はかかりますが、市民文化会館を今後30年使用する方針です。
61	経営	民間企業であれば、改修費用を複数年かけて減価償却していくが、そのような発想がないのはいかがなものか。	市会計は、現金が動いたときに会計記録を行う現金主義会計を採用しており、民間企業とは異なり、減価償却費を計上していく制度はありません。しかしながら、施設の老朽化を示すために、本市では「公共施設白書」を作成し、建設費や大規模改修費を含めた投資額を捕捉し、施設ごとの減価償却の状況を把握しております。
62	経営	市民説明会の付属資料にて、武蔵野文化事業団の収支が示されているが、公会計は民間の会計と違い、わかりづらい。市の会計も明快にすべき。	武蔵野市の会計制度だけではなく、地方自治体の会計制度は昔から現行の制度できています。国でも現在見直しを検討されており、この動向をみながら、必要な改善が行われることになると思います。
63	経営	マンションであれば、大規模修繕のためにお金を積み立てるが、市は改修のための積立はあるのか？	本市では、学校や文化施設、スポーツ施設などの公共施設の更新や吉祥寺の再整備等に備えた基金を設置しており、平成25年度末において283億円を積み立てています。このうち、文化会館をはじめ公共施設の改修等に充てる公共施設整備基金は、120億円積み立てています。
64	経営	民間企業であれば、約45億円も投資するような事業であれば、代表者が「投資の目的」「夢」を語り、45億の必要性を訴える説明する。そうした説明を、まずは理事長がすべきではないか。	(公財)武蔵野文化事業団が指定管理者として、館の管理・運営を担っていますが、市民文化会館は、市が所有し改修する責任のある施設であるため、市が説明をしています。なお、第1回目の市民説明会には出席しませんでした。説明会での要望により、2回目以降は事務局長が出席しています。

番号	項目	意見要旨	市の対応・考え方
65	経営	市は損益を考えているのか？	市の役割は、文化・スポーツ等の基盤を作ることだと思っています。所得の再配分を通じて、所得の高低に関わらず、多くの方に文化・スポーツなどを楽しむ機会を提供します。 民間企業のように採算を追求することが、本施設の目的ではありません。
66	経営	財政援助出資団体の見直しをする中で、統合・廃止等でスクラップアンドビルドが発生したことによる費用の削減や、改修による費用の削減効果を議会に示して欲しいが、いかがか？	財援団体の見直しは、コスト削減のみならず、市民サービスの更なる向上や地域社会の活性化もその目的としています。財援団体の財務状況はこれまでも公表していませんし、見直しによるコスト効果については、決算等で明らかになってくると考えます。 なお、空調設備の改修後のランニングコストについては、約500万円/年の削減効果があり、30年間では1.5億円の効果があります。
67	経営	ライフサイクルコストはどのように考えているのか？	市では長期保全計画を立てて、施設の長寿命化を図っており、また施設の使用料を見直しながら、財政が成り立つように考えます。また、空調設備の改修後のランニングコストについては、約500万円/年の削減効果があり、30年間では1.5億円の効果があります。
68	公共施設再編	45億もの税金を使うからには、老朽化して市民の評判が悪い公会堂をどうするのか、文化会館だけを改修すれば良いわけがない、吉祥寺の現状を深刻に憂いている問題を後回しにして、やりやすい改修工事を片づけようでは、知恵を尽くしていない場当たり行政。	武蔵野公会堂は昭和38年建設で、老朽化やバリアフリーなどの課題を抱えています。市では、将来の公共施設のあり方の検討を進めています。平成25年3月に策定した『武蔵野市公共施設再編に関する基本的な考え方』にも示したように、公共施設は原則60年使用していくこととしたほか、公会堂については、市全体におけるホール機能のあり方を検討するとともに、吉祥寺南口のまちづくりの課題解決も視野に入れ、公会堂単体での建て替えではなく、その敷地を有効活用して民間も含めた面的な整備の可能性について検討しています。また、市民文化会館については、昭和59年建設で、まだ築後30年であり、必要な改善を加えながら今後も利用していく施設と位置付けています。ただ、一部の機器等は老朽化が生じていること、東日本大震災を経て、安全性の基準が見直されてきたこと、バリアフリー等、時間の経過とともに社会的ニーズが変化して来ていることなどから、目標使用期間である60年の半分を経過するこの時期に、大規模な改修を行うことといたしました。
69	公共施設再編	公会堂含む南口再開発地区で6,000から8,000平米の土地を確保し、新築(1ホールのみ)すべきである。その場合、現在の市民会館は解体し、月窓寺との賃貸契約は解約。	
70	公共施設再編	吉祥寺駅前に近い利便性の高いところに武蔵野公会堂がありこの土地の有効利用を先に検討する必要がある。武蔵野市に二つも同じ機能(多少は違いますが)を持つ施設は全く不要です。	
71	公共施設再編	武蔵野公会堂の建替予定との兼ね合いは検討したのか。	
72	公共施設再編	文化会館修繕に46億掛けるということは、公会堂はあきらめるということなら、それを広く市民に徹底広報してからにして欲しい。	

番号	項目	意見要旨	市の対応・考え方
73	公共施設再編	武蔵野市民文化会館のホールの残響は素晴らしい。しかし、駅からバスなどを乗り継ぐ必要があり、交通の便が悪い。演奏する側としては、交通の便の良さ、打ち上げができるお店があるなどを重視する。商業の活性化も考えるなら、駅近の公会堂を改修し、600席程度のホールを設けた方がいいと思うが、改修自体の根本的な見直しはないのか？	公会堂の改修は行います。しかし、吉祥寺駅南口パークロードのことなどもあり、まちづくりと一体で考える必要があります。市の公共施設を駅の近くに集約することは、駅から遠い市民がいることを考えると、いかがなものか、という考えもあります。
74	公共施設再編	なぜ公会堂の改修に市の資源(お金)を投入しないのか？	金銭的な問題だけではなく、地権者側の都合もあります。市が用地買収でお金をかけていないから、公会堂の改修が進んでいない、ということではありません。
75	公共施設再編	巨額の予算を使い改修を拙速に実施するのは反対で、もっと時間かけて新築案について検討すべき。	改修内容などについて、市民の皆様の意見を十分お聞きすることは必要と考えています。一方で、改修時期が大きく遅れると、設備・機器等の深刻なトラブルが懸念されます。
76	公共施設再編	都内にもっと素晴らしい民間の文化施設があり経営効率化も進んでいる現在、財政上負担の大きい公共施設を一地方自治体が持つべきかどうかについて市民の意見を募集することから始める必要がある。	将来の公共施設のあり方に関する貴重なご意見と承ります。ただ、市民文化会館については、昭和59年建設で、まだ築後30年であり、必要な改善を加えながら今後も利用していく施設と位置付けており、今回の改修は必要不可欠と考えています。
77	公共施設再編	今回のやり方は、行政側で存続ありきの結論を出してすべて既定路線のように突っ走っている。	第五期長期計画及びその実施計画のひとつである行財政改革アクションプラン、さらには『武蔵野市公共施設再編に関する基本的な考え方』でもその方向性はお示しし、市民の皆様のご意見をいただく機会を設けてきたと考えています。
78	公共施設再編	今は財政収入が伸び悩む中の限られた財源の中で、スクラップアンドビルドを行い、整理統合を行い、市民の目線で一円たりとも無駄な予算執行を行わない方針を死守していただきたい。これが子供たちに負の遺産を残さないことにつながる。	将来の公共施設のあり方に関する貴重なご意見と承ります。ただ、市民文化会館については、昭和59年建設で、まだ築後30年であり、必要な改善を加えながら今後も利用していく施設と位置付けており、そのためには今回の改修は必要不可欠と考えています。
79	公共施設再編	武蔵野市でも税収が減ると見込まれている中で、公共施設の大規模な整備については、運営(経営)の適正、継続性を検討した上で、同様の機能をもつ施設の全市的な配置とその効果を考慮しながら、整備方法を選択すべきだ。	
80	公共施設再編	文化施策の中核施設の役割を公会堂に移し、本格的なコンサートができる機能を設けて多少は収益があがるようにすれば、市への財政的依存度を低くすることができるのではないか。	
81	公共施設再編	現在の市民文化会館の場所は、市民が集う機能を組み入れながら、賃貸住宅を併設して24時間地域包括システムの拠点となるような複合施設に建て替えたほうが、施設の長期利用にこだわるよりも堅実に思える。	

番号	項目	意見要旨	市の対応・考え方
82	公共施設再編	<p>施設の大規模な整備が必要になった場合、現在の事業の適性と今後の継続性を十分に検討して、さらに市全域レベルでの施設の再編を視野に入れながら運営を見直し、当該施設の大規模整備を決定する。その結果既存施設を利用しなくなった場合は、将来に亘って必要とされる施策に利用することを検討すべきだ、ということである。</p> <p>残念ながら、今回の『改修案』は、その検討過程と結論が記載されておらず、「大規模改修ありき」のように見えるが、このような工程を経なければ、今後の他の公共施設の設置、再編も有意義なものにはならないだろう。</p> <p>すでに検討済ならその内容を『改修案』と同様に武蔵野市のサイト上でも公開し、改めて市民に改修の是非を問い、もしまだならこの機会に十分に検討していただきたい。</p>	<p>第五期長期計画及びその実施計画のひとつである行財政改革アクションプラン、さらには『武蔵野市公共施設再編に関する基本的な考え方』でも、市民文化会館は必要な改修を加えながら継続して利用していくという方向性を示し、市民の皆様のご意見をいただく機会は設けてきたと考えております。</p>
83	公共施設再編	<p>公共施設の見直しが行われているので、市民にとって何が優先順位が高いか。その発表の上で、なおかつ46億かけて今文化会館を今回提案された、(私にとっては曖昧な)改修案が妥当かが検討されるべきかと思う。</p>	<p>将来の公共施設のあり方に関する貴重なご意見と承ります。ただ、市民文化会館については、昭和59年建設で、まだ築後30年であり、必要な改善を加えながら今後も利用していく施設と位置付けており、今回の改修は必要不可欠と考えています。</p>
84	公共施設再編	<p>公共施設の再編において、施設の縮減率は何%なのか？</p>	<p>「基本的な考え方」において、一定の前提条件で試算したら、5%～20%となりました。</p>
85	公共施設再編	<p>公共施設のあり方は、武蔵野市だけで考えるのではなく、他自治体との広域連携を検討すべきでは？</p>	<p>ゴミ処理施設のように、市としては広域連携を意識しています。「公共施設の再編に関する基本的な考え方」では、再編手法の一つとして広域連携も掲げており、今後の検討課題になります。</p>
86	公共施設再編	<p>市民文化会館を防災ボランティアセンターとして位置づけているのは、市民文化会館を使用し続けるための理由付けをしているようにしか思えない。また、ボランティアが全国から集まってくることを考えれば、駅から近い方がいいのでは？</p>	<p>災害時、ボランティアは、駅から遠くても集まっていたらと考えています。また、市民文化会館が駅から徒歩約10分の距離にあることは、他の自治体と比較しても、決して遠い距離ではないと考えています。</p>
87	公共施設再編	<p>公共施設の床面積は330,000㎡、未利用地13,000㎡あり、今後の高齢社会、納税者が減少する社会においては、施設の維持が困難ということから、市は公共施設白書を作成していると思うが、公共施設の劣化状況やその改修にかかる費用を踏まえ、市は公共施設の再編をどのように考えるのか？</p>	<p>市民の皆様と議論をしながら、決めていく内容だと思っています。また、国から地方自治体に対して、公共施設等総合管理計画を作成するよう要請がきています。この計画の対象は、施設だけではなく、道路や下水道等の都市基盤も含まれています。こうした背景を踏まえ、今後は、庁内の検討体制も充実・強化していきます。</p>
88	財政援助出資団体の見直し	<p>文化事業と生涯学習事業は統合すると明言されたが、統合して名が変わっても中身が同じで終わらないことを、そしてどのようなスクラップアンドビルドが行われるのか。この統合効果で市の負担が大きく減るから市民文化会館の改修を優先するという計算であれば理にかなう。</p>	<p>本年5月に策定した『武蔵野市財政援助出資団体在り方検討委員会報告書』では、文化・生涯学習・スポーツ分野のサービスを一体的に推進するため、中長期的に(公財)武蔵野文化事業団と(公財)武蔵野生涯学習振興事業団の統合が提言されました。今後、第五期長期計画・調整計画策定の過程で議論され、最終的な結論が出されます。一定の財政的効果と市民サービス向上を期待するところです。ただ、今回の改修と直接的な関係性があるとは考えておらず、この改修は施設設置者である市の責任で実施するものです。</p>

番号	項目	意見要旨	市の対応・考え方
89	情報公開	とにかく市民に十分な情報提供を行ってください。その上で、意見を徹底的に聞いて欲しい。	今後も改修内容について、市報やフェイスブックなどを通じて情報を提供します。
90	情報公開	市民が傍聴できない「全員協議会」で示され、平成25年度中に市議会に報告されなかった「武蔵野市民文化会館改修基本計画」(平成25年度予算)について、市民に公開すべきではないか。	今回の改修案は、武蔵野市民文化会館改修基本計画の内容を踏襲しているので、説明会では用意しませんでした。要望にそって、改修基本計画についてはホームページに公開します。
91	情報公開	平成26年度予算で審議された「武蔵野市民文化会館設計計画」の137百万円の詳細を市民にも公開すべきではないか。	設計委託予算額を算出した平成26年1月時点の最大の工事費から東京都設計委託料積算標準により、基本設計費用、実施設計費用を算出し、平成26年度の設計委託料を予算計上しました。
92	情報公開	改修の必要性公表が一年遅いと思う。文化会館の現場職員と管理責任者との間に、老朽化に関する情報交換と課題の共有がなされていれば、改修の必要性は一年早く市民向け説明会が行うことができたと思う。	老朽化に関する情報交換はしていましたが、改修の公表のためには、改修案の策定が必要です。その策定に1年間を要したため、今回の時期になりました。
93	情報公開	休館は不便になるので、休館に関する、市民への情報の提供の仕方はわかりやすくして欲しい。	休館に伴い利用者が、市外の施設を利用することも考え、市民文化会館の改修について、市から周囲の他自治体にもアナウンスしました。
94	情報公開	モニタリングの179人とはだれか？	平成24年12月から平成25年3月に、大小ホールをご利用いただいた利用者が対象です。市では、毎年同様のアンケートをとっています。
95	情報公開	市民説明会の議事録詳細は、議会に報告するのか？最後は議会が承認するので、議会にはパブリックコメントだけではなく、市民説明会の内容も知っていただきたい。	議事要旨という内容になると思いますが、一覧表にして議会に示し説明し、またホームページでも公開します。
96	文化施策方針	文化会館存続の意義についてさらに深めた検討が必要と思われる。今後の少子化などの大きな社会的変化があるなかで、税金の46億円をここの維持のために投入してよいのか。	行政として解決すべき様々な公共課題がある中で、今後の財政状況等を考えると優先順位や「選択と集中」が必要となってくるのはご意見のとおりと考えます。文化会館は築後30年と、その耐用年数の中間点であり、今後数十年間、安全で使いやすい施設として市民に利用してもらうには、この時期に大規模改修を実施する必要があると考えます。金額については、今後設計の中で、精査します。
97	文化施策方針	この30年の文化会館の果たしてきた役割を投資金額との比較で総括が必要。本当に必要だというニーズがあるのか、無いよりはあった方がよいという発想は過去のもの。	市民文化会館の年間利用者は約25万人であり、ニーズはあると考えています。市民文化会館については、昭和59年建設で、まだ築後30年であり、必要な改善を加えながら今後も利用していく施設と位置付けており、今回の改修は必要不可欠と考えています。

番号	項目	意見要旨	市の対応・考え方
98	文化施策方針	近隣市民の利用が多く、かつりピーターが多い中で、どれだけの武蔵野市民が安価なチケットを利用しているのだろう。本来の目的を逸脱している要因はどこにあるのか。	平成26年7月時点の友の会の会員の割合は市内が36.2%、市外が63.8%です。友の会では市内会員の方は会員割引で2枚まで(市外会員は1枚)購入ができるなどの優先制度を設けていますが、今後は、市内での宣伝や告知をより重視するなど、多くの市民の方に利用いただけるよう努めてまいります。 なお、本施設は貸館機能も備えており、学校行事、成人式、敬老福祉の集いなどの行事や、練習室などの利用を通じて、多くの市民にご利用いただいています。
99	文化施策方針	文化に関して市のはたす役割は何か、という点も、冊子から読み取れない。市民に文化を提供するとともに市民が主体的に文化活動を展開し、発信して行くようにサポートするとお考えかもしれませんが、それは具体的にどのように、この改修案に盛り込まれるのか。	市民文化会館は、武蔵野市の文化の拠点であり、文化醸成のための活動支援や公演の提供において不可欠な施設です。その施設を、今後も安全かつ快適に使用していくために、築30年経って劣化した部分を中心に改修していきます。
100	文化施策方針	改修と同時に、施設として提供をめざす内容、武蔵野市が発信する文化について、考えるのが必要だと思う。	文化に関する市の役割については、今後明確にしていく必要があると考えています。今後、市民のみならずの意見を聞きながら、検討することを考えています。 なお、(公財)武蔵野文化事業団は、市民に優れた芸術文化を提供し、市民みずから行う芸術文化の創造活動を援助し、市民の文化、福祉の向上を図り、地域社会の発展と豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として設置されています。
101	文化施策方針	武蔵野市の文化施策とは何か。	同じでよいということはないと考えております。時代の変化に合わせ、当事業団の事業も、変化し続けて行くべきと考えています。 具体的には、芸術文化を市民に普及していく活動などを、若い方やファミリー層を対象とした事業を重視していきたいと考えています。
102	文化施策方針	武蔵野市民文化会館の事業は今後とも今の路線でいいのか。	市民文化会館の事業の方向性については、市と(公財)武蔵野文化事業団が意見交換をしています。クラシックの公演が多い点については、音響がよい小ホールの特性を生かし、他の市町村とは異なる特色を打ち出しており、それによって多くの方に来場いただいていると考えています。なお、最近はポップス等も増やしつつあり、今後の事業内容のバランスについては、時代の動きをみながら、フレキシブルな考えで臨みたいと考えております。
103	武蔵野文化事業団の管理運営	今までクラシック的な公演が多いようなのですが、これは武蔵野市の方針なのか？	市民文化会館の事業の方向性については、市と(公財)武蔵野文化事業団が意見交換をしています。クラシックの公演が多い点については、音響がよい小ホールの特性を生かし、他の市町村とは異なる特色を打ち出しており、それによって多くの方に来場いただいていると考えています。なお、最近はポップス等も増やしつつあり、今後の事業内容のバランスについては、時代の動きをみながら、フレキシブルな考えで臨みたいと考えております。
104	武蔵野文化事業団の管理運営	外国のアーティスト中心の公演内容は適切なのか。	公演の質とチケット価格を考慮すると、外国のアーティスト中心になってしまう面がありますが、多くの方々幅広く公演を鑑賞いただくということも考慮し、公演内容については、常に検討していきたいと思えます。
105	武蔵野文化事業団の管理運営	運営は民間に委託(公募募集)すれば効率的運営が可能となる。	市では、平成27年度から新たな指定管理期間となることから、この期間に適用する『指定管理者制度に関する基本方針』を策定し、公募化などについても検討を行いました。市民文化会館は、「市と密接な連携を図る必要のある施設」であり、公募化には適さない施設と位置付けています。

番号	項目	意見要旨	市の対応・考え方
106	武蔵野文化事業団の管理運営	<p>入口ドアは幼児が指をはさみそうな仕様だったり(これは障害を持つ方にも危険です)、廊下やトイレは照明を点けていても地下かと思う程薄暗いなど、古さを感じさせる箇所が既に10年以上前からありました。また利用抽選に際し「6ヶ月前の毎月1日(水曜日を除く)」という設定も、利便性にとんだものではありません。「設備はありながらも旧態依然とした場」という位置づけがすでに10年前から定着していたということでもあります。長期計画はあった筈だと思いますが、文化会館に関するこの旧態依然である点はどうは正されて行く予定だったのか？</p>	<p>入口ドアや照明は今回の改修範囲であり、基本設計において、現状を調査したうえで具体的に検討します。施設貸出の方法は開館当初から変わっていない点で、利用者の方々に定着していると考えています。定着しているから見直さないとということではありませんが、今まで変更の要望等はあまり寄せられていないので、慎重に検討したいと思います。</p>
107	武蔵野文化事業団の管理運営	<p>冊子では「利用層は高齢化」「リピーターが多い」「新規利用層と若い世代の利用増が課題」と有る。にも関わらず改修予算のほとんどはハード面の整備に集中している。もっとソフト面が見直されなければ、若い世代にとって魅力ある利用しやすい施設にはなりません。</p>	<p>今回は大規模改修に関する説明のため、ハード面の整備についての説明となっています。今後の文化事業団の事業内容については、時代の動きをみながら、フレキシブルな考えで臨みたいと考えております。</p>
108	武蔵野文化事業団の管理運営	<p>当該団体が指定管理委託者になっている施設の利用は、市民より近隣市民の利用割合が高いそうだが(『武蔵野市財政援助出資団体系在り方検討委員会報告書』)、受益者が市民ではない場合に、チケットを安価に設定することの副次的な効果は何か？</p>	<p>(公財)武蔵野文化事業団のチケットは完売することを前提に価格を設定し、それがチケット価格を安くできる一つの要因にもなっています。それには多くの方々にチケットをお買い求めいただく必要があります。それによって、市民の方(友の会の市民会員は全体の36.2%)もチケットを安く求めることができるという面があります。また、レベルの高い公演を市外から聴きにきていただくことにより、武蔵野市の評価が上がるという側面もあると考えています。なお、本施設は貸館機能も備えており、学校行事、成人式、敬老福祉の集いなどの行事や、練習室などの利用を通じて、多くの市民にご利用いただいています。</p>
109	武蔵野文化事業団の管理運営	<p>今、市民文化会館のチケットは、利用率が高い小ホールで1000円代のものも多く、相場よりかなり安い印象があり、一公演あたりどの程度金額が補填されているのか、逆に捉えれば、「安くなければチケットは売れないのか」と心配。</p>	<p>チケット代は、アーティストの招聘費用と公演を実施するための諸経費を回収できる金額で設定しており、独立採算を基本としています。文化会館のチケット価格は、他と比べてチケット販売率が非常に高いことや、広告宣伝費を低く抑えること、また出演料を交渉により低くしていただいていることなどによって実現しています。近年、円安の影響で少しチケット代が高くなる傾向はありますが、今後も気軽に身近に音楽等を楽しんでいただけるよう努力してまいります。</p>
110	武蔵野文化事業団の管理運営	<p>チケットの適性価格はいくらか。</p>	<p>海外から興行者を呼び寄せており、為替レートの上昇に伴い、チケット代が上がっています。チケット代があまり上がらないよう、内部で経営努力をしています。</p>
111	武蔵野文化事業団の管理運営	<p>ここ2、3年、チケット代が高くなっている印象がある。改修をきっかけに、チケット代をあまり値上げしないで欲しい。</p>	<p>海外から興行者を呼び寄せており、為替レートの上昇に伴い、チケット代が上がっています。チケット代があまり上がらないよう、内部で経営努力をしています。</p>
112	武蔵野文化事業団の管理運営	<p>3Fの会議室の使用目的を多面性にしてほしい。</p>	<p>会議室の使用用途については、利用率などを考慮し、どのような活用方法があるか検討してまいります。</p>
113	武蔵野文化事業団の管理運営	<p>市民と市外市民の利用者比率は？</p>	<p>アルテ友の会の構成をみると、市民3割、市外市民7割になっています。なお、本施設は貸館機能も備えており、学校行事、成人式、敬老福祉の集いなどの行事や、練習室などの利用を通じて、多くの市民にご利用いただいています。</p>

番号	項目	意見要旨	市の対応・考え方
114	武蔵野文化事業団の管理運営	小金井市に新しくできた施設では、貸館の市民優先枠や市民価格という制度がある。改修を契機に、市民優先枠の設定や市外の人は高くするとか、経営に利点ができるようにご検討いただきたい。	使用料については見直す時期において、検討していきたいと考えています。
115	武蔵野文化事業団の管理運営	武蔵野市では国際オルガンコンクールを開催しているが、今後の予定は？	本来は平成28年度が開催年度になりますが、改修工事期間にあたるため、平成29年度の開催を予定しています。
116	経済の活性化	文化ホールは市民の芸術活動を支えたり鑑賞の拠点になるだけでなく、経済活動を活発にする、まちづくりの資源としての役割も担っているはずだが、市民文化会館の付近には終演後に飲食を楽しめる店が少なく経済効果は薄いのではないか。	市民文化会館が地理的には市の中央に設置されていることにより、市民のアクセスの公平性が確保されていると考えています。本施設には、三鷹駅や吉祥寺駅からバスなどを利用して来館する方がおり、駅周辺への経済効果があると推察しています。また、優れた音響機能を有するホールで、優れた公演を提供することにより、武蔵野市のイメージ向上などの効果もあると思われます。
117	経済の活性化	公会堂の立地は吉祥寺駅南口の整備も進み、利便性が高い。市民の文化振興はもちろんのこと、広く市外にもアピールすることで、すでにブランド化されている吉祥寺のイメージとともに文化都市としてのイメージ戦略もたてられるだろうし、経済効果も見込めるのではないか。	将来の公共施設のあり方に関する貴重なご意見と承ります。ただ、市民文化会館については、昭和59年建設で、まだ築後30年であり、必要な改善を加えながら今後も利用していく施設と位置付けており、今回の改修は必要不可欠と考えています。
118	その他	第一中学校との境目にある「朝日友好永久親善」碑の撤去・廃棄などが行われないうちに要望します。加えて可能であれば、市民の目に留まる場所に移設することが必要だと思う。	改修に伴う「朝日友好永久親善」碑の移設及び撤去は予定しておりません。

武蔵野市民文化会館改修案（平成 26 年 8 月）

平成 26 年 8 月

発行／武蔵野市市民部市民活動推進課

〒180-8777 武蔵野市緑町 2-2-28

電話 0422-60-1831（直通）